

札幌山の手 森山展行主将(3年)



「絶対優勝」を掲げた森山展行主将。後半9分、19分、21分に連続してゴールを決め、チームを勝利に導いた。後半は、森山のドリブルが、チームの攻撃の軸となった。後半は、森山のドリブルが、チームの攻撃の軸となった。後半は、森山のドリブルが、チームの攻撃の軸となった。

選手プロフィール

No.	氏名	学年	身長	体重	出身中学
1	FW 瀬戸 康太	3	172	92	中の島
2	上村 裕太	3	166	76	真栄
3	伊東 直人	3	175	92	赤井川
4	佐藤 裕一郎	3	174	80	北栄
5	山根 有人	2	188	83	光陽
6	白土 将太	2	180	85	発寒
7	上田 睦	3	181	109	平岸
8	森山 展行	3	185	105	琴似
9	HB 若崎 彰洋	2	168	66	発寒
10	君嶋 祐太	2	168	60	北見市立北
11	TB 藤田 卓真	3	174	67	北栄
12	佐々木 雄一	3	170	77	岩見沢緑
13	井川 貴光	3	174	80	柏ヶ丘
14	原田 雄大	3	176	71	中の島
15	FB 福津 達也	3	176	70	福井野
16	リザーブ 小川 貴大	3	170	73	中の島
17	森 遼介	3	166	65	北白石
18	柴田 惇	3	170	73	前田北
19	森岡 武彦	2	176	78	陵陽
20	牧野 竜也	2	168	73	前田

札幌山の手 展開決まり5年連続



簡単にには勝てない展開に、札幌山の手は後半21分、ラインアウトからモールを押し込む。山の手は、このゴールで、5年連続で花園出場を決めた。

【函館大有斗・札幌山の手】前半21分、ラインアウトからモールを押し込む札幌山の手フィフティーン＝須賀川 隆博 撮影

北海道

有斗、前半リード

▽決勝

函館大有斗 220014
札幌山の手 220014
合計 40計31

代表2校決まる
第84回全国高校ラグビーフットボール大会(毎日新聞社など主催)の出場権をかけた第87回北海道高校ラグビーフットボール南北選手権大会(北海道ラグビー協会など主催、毎日新聞社など後援)の

札幌山の手 花園で

決勝が白、網走管内美幌町の柏ヶ丘公園陸上競技場で行われた。南大会は札幌山の手が逆転で函館大有斗を退け5年連続5回目、北大会は釧路野が中標津に逆転勝ちし、4年ぶりの回りの花園出場を決めた。全国大会は10月27日開幕する。

【吉田 龍】

No.	氏名	学年	身長	体重	出身中学
	松前 尚行	1	155	55	北栄
	千田 拓也	1	168	70	北野台
	渡邊 大地	1	175	60	真栄
	小林 平宗	1	160	55	陵陽
	水木 悠葵	1	178	78	稲積
	柴田 弘貴	1	170	60	北栄
	河内 祥平	1	173	90	北野台
	今野 篤史	1	170	60	星置
	島山 大聖也	1	160	60	福井野
	寺西 淳史	1	168	60	琴似
	武内 允人	1	174	115	厚別南
	代田 大河	1	173	60	福井野
マネージャー	間ヶ敷 真美	3			手稲
"	中村 公子	3			稲積
"	山美 麻祐子	1			東栄
"	長船 桃子	1			稲積
"	曳地 三奈未	1			琴似



札幌山の手 逆転5連覇



山の手ラグビー

札幌山の手高校ラグビー部の紹介

重庄はねのけ花園へ

札幌山の手

函大有の速い出に、前半リードをされた札幌山の手だが、すべり勝劣番、ハートスタムでB
前半7分、札幌山の手は、地方を擁護して遊んで来た」と、福屋Kをなかせと指示をし
ルバック補陣がトライは「5連続(意識)」。前半は「FWが完全」でFWからの速い球出し
(積極的な撮影) で流れた。運は重庄を感に負けた」と、佐藤監督で流れをつかみ、後半20
分、FB福屋が俊を飛ばし、ゴールを決まり逆転した。今大会は全試合で逆転勝ち。昔ながらの強豪。勝に森山監督は「調子のいいが、目撃花園でこのシンド校撃破を目を向けた。

函大有斗に40-31

南は札幌山の手

4年ぶり2度目 北は富良野



全道高校ラグビー部 最終日
【重庄】「ラグビーの第一勝は、五回全道高校ラグビー選手権大会最終日は白、網走から大阪・花園ラグビー場で開幕する第84回全道大会に出席する。高校大会に出席する。」
函大有は札幌山の手が函大有との競いトライの結果、40-31で制し、5年連続5度目の優勝を果たした。

札幌山の手5連覇

全道高校ラグビー部 最終日
南北北海道選手権

南北北海道の決勝が行われ、南北海道の札幌山の手が、黄金期来となる連続の優勝を挙げた。後半15分まで両陣入射は、ドトライドされたが、そこからFW、バックスが一体となった連続攻撃で逆転勝ちした。北北海道、富田野が終盤インシュアタイムに、右アロツの本田勇太(3年)が、奇跡的な前線トライ。逆転ルールも成功させ、中継ぎ下し4年ぶり2度目の優勝。両校は12月日から東大阪市の花園ラグビー場で開かれる全道大会に出席する。



5回連続優勝した札幌山の手は、征で休養した勝しタラシを、FB福屋が俊を飛ばし、ゴールを決まり逆転した。今大会は全試合で逆転勝ち。昔ながらの強豪。勝に森山監督は「調子のいいが、目撃花園でこのシンド校撃破を目を向けた。

スポーツ報知

2004年(平成16年)10月3日(日曜日)

北海道新聞

